

# OBD検査の概要・実施までのスケジュール

夏の風物詩は数あれど、自動車整備業界に身を置く読者諸氏であれば、8～10月といえばこの時期、申請受付をしているスキャンツール補助金を思い浮かべるのではないだろうか。

補助金を活用する・しないにかかわらず、「整備用」スキャンツールのニーズはほぼ一巡したのではないかと見られる昨今ではあるが、今年はどうもいかなそうだ。

というのも、周知の通り、来年10月からはOBD検査が開始となり、これに紐づいて「検査用」スキャンツールも車検機器として型式認定が必要となる。

早くも今年3月には型式認定の検査用スキャンツール第1号機が登録され、本稿執筆に前後して第2号機も登録されるなど、着々と来年の検査開始に向けて準備が進んでいる。

国土交通省の話（後述）では、今年のスキャンツール補助金は整備用スキ

ャンツールのみならず、検査用スキャンツールも申請対象になるとのことなので、例年とは違う意味で熱い補助金となることは必至なのである。

## OBD検査の概要

ここで改めてOBD検査の概要について確認しておこう。OBD検査は、自動運転技術等の電子装置に搭載された自己診断機能を使った車載式故障診断装置（OBD）による新たな自動車検査手法である。

OBDによる故障診断の結果、当該装置に不具合が生じていると判定した場合には、自動車のコンピューター（ECU）に故障コード（DTC）が記録される。

OBD検査では、保安基準不適合となるDTCを「特定DTC」としてあらかじめ自動車技術総合機構の管理するサーバーに蓄積しておき、自動車から読み取ったDTCをサーバーに送信し、

特定DTCに該当するかの確認を行う。

2024年10月以降、使用過程における検査（いわゆる車検）の際、車検証の備考欄に「OBD検査対象」などの記載がある車両については、通常の検査項目に加えてOBD検査をする必要がある。

OBD検査の対象となる車両は、国産車は令和3年（2021年）10月1日以降の新型車（フルモデルチェンジ車）、輸入車は令和4年（2022年）10月1日以降の新型車（フルモデルチェンジ車）となっている。

ただし、車検証に「OBD検査対象車」（電子車検証の場合は「OBD検査対象」）などの記載がある場合でも、法令等で定められた条件によりOBD検査をしなくてもよいことがある。

## OBD検査実施までのスケジュール

冒頭に触れたようにハード面で検査

図1 OBD検査実施までのスケジュール



# 検査用スキャンツールを理解する 整備用スキャンツールの違いと選び方

## 検査用スキャンツールが市場に登場

OBD検査のプレ運用を目前に控え、検査用スキャンツールのリリースが始まった。3月31日にバンザイの「MST-nano」が検査用スキャンツールとして初めて型式認定され、6月には、インターサポートの「G-scan Z」が日本自動車機械工具協会（機工協）から認定を受けた。いずれも整備用スキャンツールからのアップグレードである。

整備用スキャンツールは機能に沿った自由な開発が可能だが、検査用スキャンツールは公的なレギュレーションをクリアした検査機器として機工協より型式認定を受けなければならない。それが整備用スキャンツールと検査用スキャンツールの決定的な違いである。なお、検査用スキャンツールは、検査機器ながら、現時点において、1年に一度の定期校正の対象ではない。

## 検査用スキャンツールの通信の流れ

整備用スキャンツールは言うまでもなく、故障診断をはじめ、メンテナンスサポート機能など、あくまでも整備を行うために用いるスキャンツールだが、検査用スキャンツールは特定DTCを読み込み、自動車技術総合機構のサーバーと通信して検査の可否を判定するもので、そもそも機器としての目的が異なっている。

このため、整備用スキャンツールには対応メーカーや対応車種などカバレ



検査用スキャンツールの認定機第1号となったバンザイのMST-nano。MSTシリーズ初のVCIを採用した。10.1インチタブレットとQRコードリーダーを標準装備

ジが重要視される。たとえば、「国産車9ブランドに対応」や、「輸入車3メーカーにも対応」などのカバレジは整備用スキャンツールを選ぶ上で、プライオリティーの高い要素のひとつだ。この点からも分かるように整備用スキャンツールは車種の特定をスキャンツール自身が行っている。

一方、検査用スキャンツールは車種の特定を行っていない。特定DTC照会アプリでQRコードを読み取り、車種の車検証情報を基にECUへのアクセスに関する情報を出し、特定DTCの読み込みを促す仕組みである。それに基づき、検査用スキャンツールは

ECUと通信し、特定DTC情報を収集、自動車技術総合機構サーバーに照会する仕組みとなっている。

## 検査用スキャンツールのプロトコル

検査用スキャンツールのハードウェア要件のひとつに車載通信と対象のプロトコルが規定されている。排ガス関連には道路運送車両法の保安基準の細目を定める告示に規定されている通信プロトコルを用いるが、安全関係の特定DTCにかかわる通信プロトコルは、対象の車載装置ごとにDoK-Line方式、DoCAN方式、あるいはDoIP方式が求

## 検査用スキャンツールの通信の流れ

